



2019年12月期 業績概要

～五大陸をつなぐ世界No.1ブランドをめざして～

ホシザキ株式会社

(証券コード:6465 東証第一部・名証第一部)

2020.2.10

HOSHIZAKI

I. 2019年12月期 決算概況	:P.02-15
II. 2019年12月期決算のポイント	:P.16-26
III. 2020年12月期 業績予想	:P.27-30



I. 2019年12月期 決算概況

HOSHIZAKI

為替の前提

	18年12月期		19年12月期			
	実績		実績		業績予想(19.5.7)	
	期中平均	期末	期中平均	期末	期中平均	期末
米ドル	110.4	111.0	109.0	109.5	106.0	106.0
ポンド	147.3	140.4	139.1	143.4	147.0	147.0
ユーロ	130.3	127.0	122.0	122.5	125.0	125.0
シンガポールドル	81.8	81.0	79.9	81.0	82.0	82.0
人民元	16.7	16.1	15.7	15.6	16.9	16.9
デンマーククローネ	17.4	17.0	16.3	16.4	17.3	17.3
台湾ドル	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6
香港ドル	14.0	14.1	13.9	14.0	14.1	14.1
韓国ウォン	0.1005	0.0994	0.0937	0.0946	0.1000	0.1000
インドルピー	1.66	1.59	1.56	1.54	1.55	1.55
ブラジルリアル	30.3	28.6	27.6	27.1	29.0	29.0
インドネシアルピア	0.0078	0.0077	0.0077	0.0079	0.0078	0.0078
タイバーツ	3.4	3.4	3.5	3.6	3.3	3.3
マレーシアリングギット	27.3	26.6	26.3	26.5	27.5	27.5
ベトナムドン	0.0048	0.0048	0.0047	0.0047	0.0048	0.0048
フィリピンペソ	2.11	2.13	2.12	2.17	2.09	2.09



2019年12月期 決算のポイント(連結)

■ 売上高は2,901億円(前期比0.9%減)

- 国内：売上高 1,899億円(同0.7%減)
- 海外：売上高 1,001億円(同1.3%減) 海外売上高比率:34.5%(同0.2pt減)

※報告セグメント情報の「米州」「欧州・アジア」より算出

- 国内は、前期の食器洗浄機の特需剥落や不適切取引の調査対応に伴う販売活動量低下の影響等により減収。顧客別では、夕方店や商店等の業種は前年を下回ったものの、加工販売等や農業・水産業等、学校保育園などの業種では好調に推移。
- 海外は、米国では炭酸飲料市場における大口顧客向け需要停滞等により減収。アジアでは前期の愛雪社の連結除外、インドのウェスタンの決算同期化(前期15ヶ月決算)の影響があったものの、引き続き販売が好調に推移し増収。

■ 営業利益は326億円(同10.4%減)

- 国内：営業利益 217億円(同12.4%減) 国内営業利益率:11.5%(同1.5pt減)
- 海外：営業利益 113億円(同9.6%減) 海外営業利益率:11.3%(同1.0pt減)
- 国内は、プロダクトミックスによる粗利率低下や不適切取引の調査費用をはじめとした販管費増の影響等を受け減益。
- 海外は、ホシザキアメリカにおいて内部統制に関する調査費用の発生等により減益。
- 営業利益率は前期を下回る11.3%(前期は営業利益率12.4%)。

■ 経常利益は342億円(同5.9%減)

- 営業外損益に外貨預金等による為替差損4.2億円を計上(前期は為替差損17.1億円を計上)。

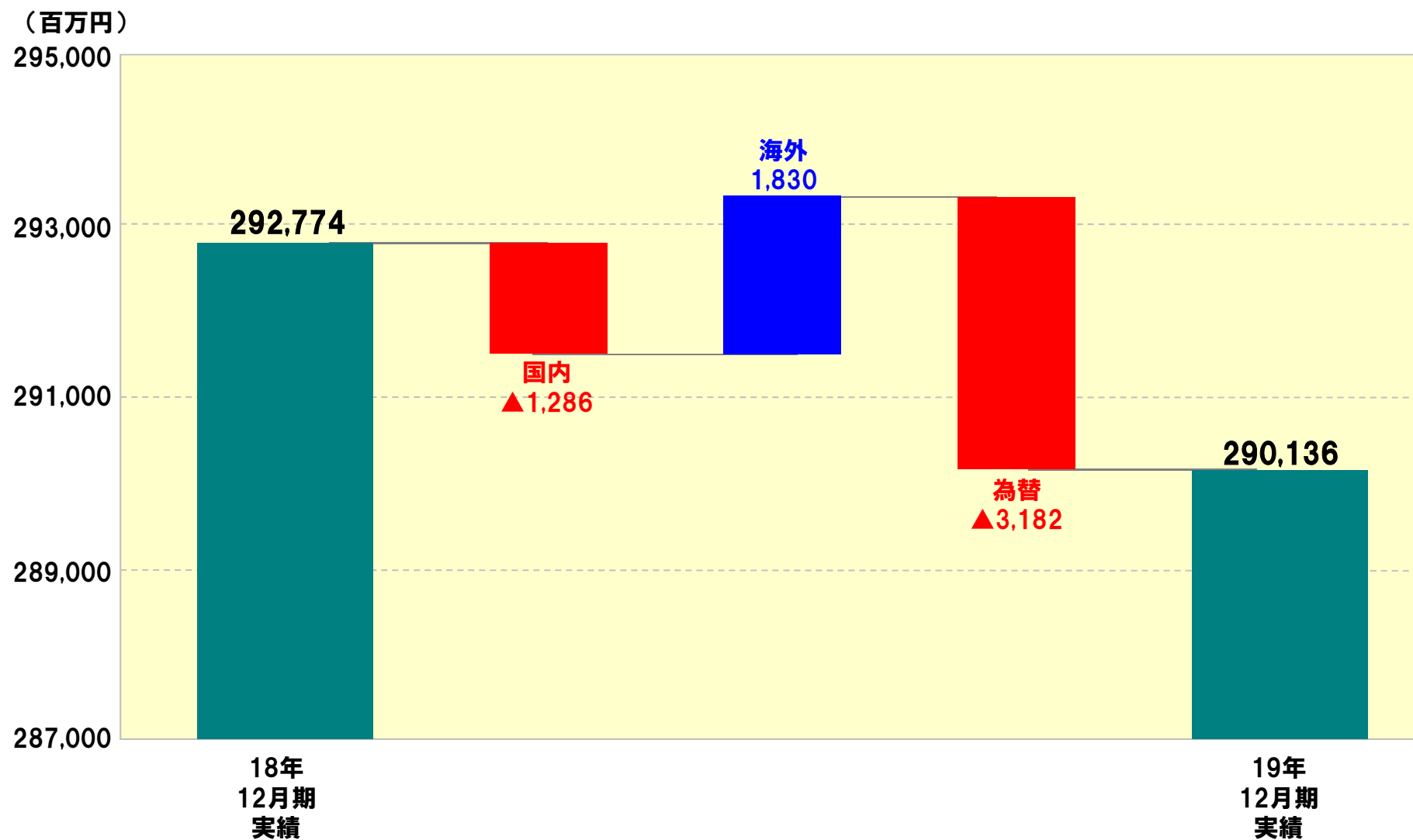
■ 親会社株主に帰属する当期純利益は244億円(同5.0%減)



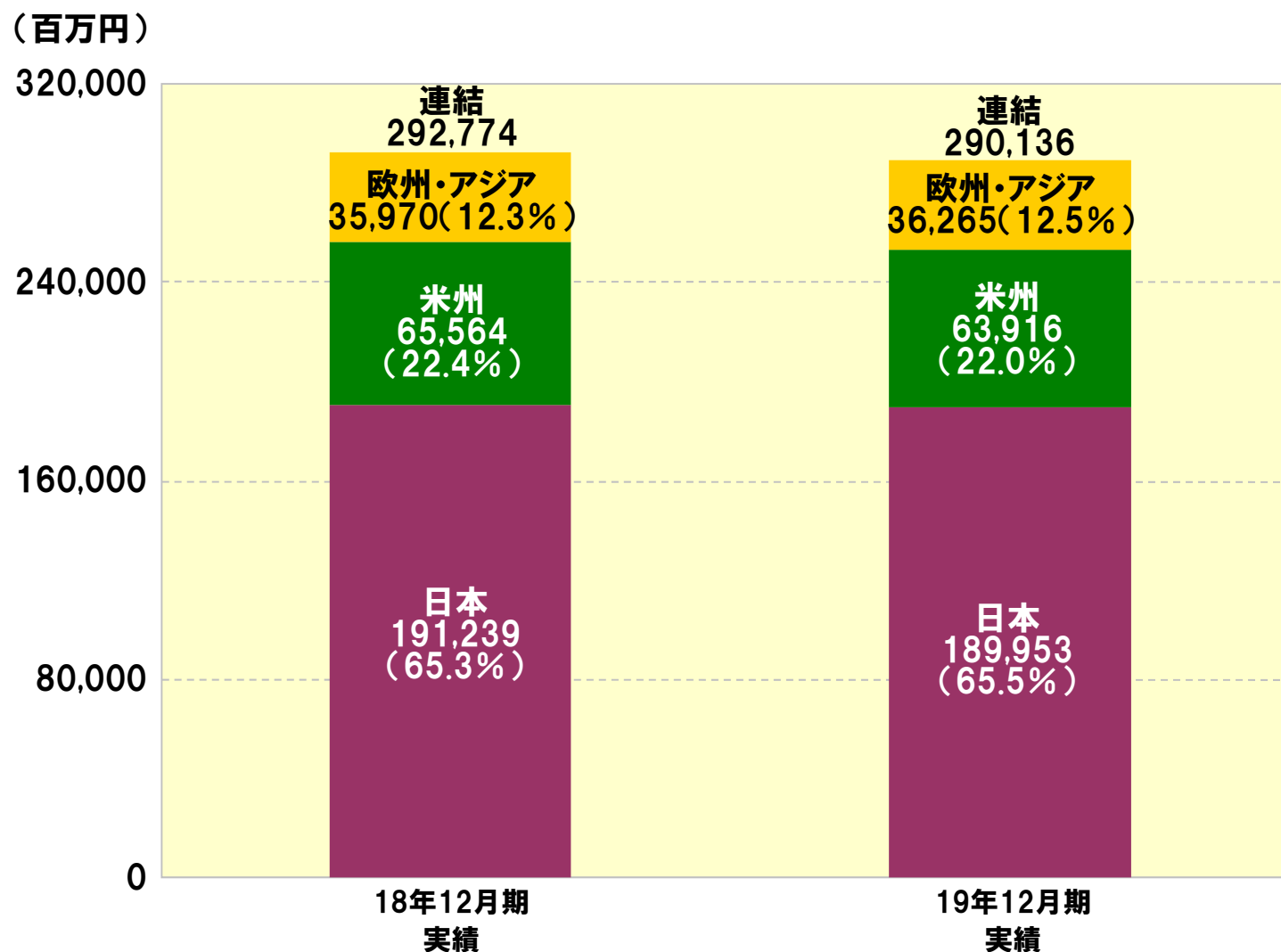
連結業績概要

	18年12月期 実績		19年12月期 業績予想 (19.5.7)		19年12月期実績					
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比		業績予想比	
							増減額 (百万円)	率 (%)	増減額 (百万円)	率 (%)
売上高	292,774	100.0	296,600	100.0	290,136	100.0	-2,638	99.1	-6,463	97.8
売上原価	182,224	62.2	184,400	62.2	180,671	62.3	-1,553	99.1	-3,728	98.0
売上総利益	110,549	37.8	112,200	37.8	109,464	37.7	-1,085	99.0	-2,735	97.6
販売費及び一般管理費	74,103	25.3	77,700	26.2	76,799	26.5	2,696	103.6	-900	98.8
営業利益	36,446	12.4	34,500	11.6	32,664	11.3	-3,782	89.6	-1,835	94.7
経常利益	36,372	12.4	36,400	12.3	34,224	11.8	-2,148	94.1	-2,175	94.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	25,717	8.8	24,800	8.4	24,437	8.4	-1,279	95.0	-362	98.5

連結売上高増減要因(国内・海外別)



報告セグメント別売上高の前年比較



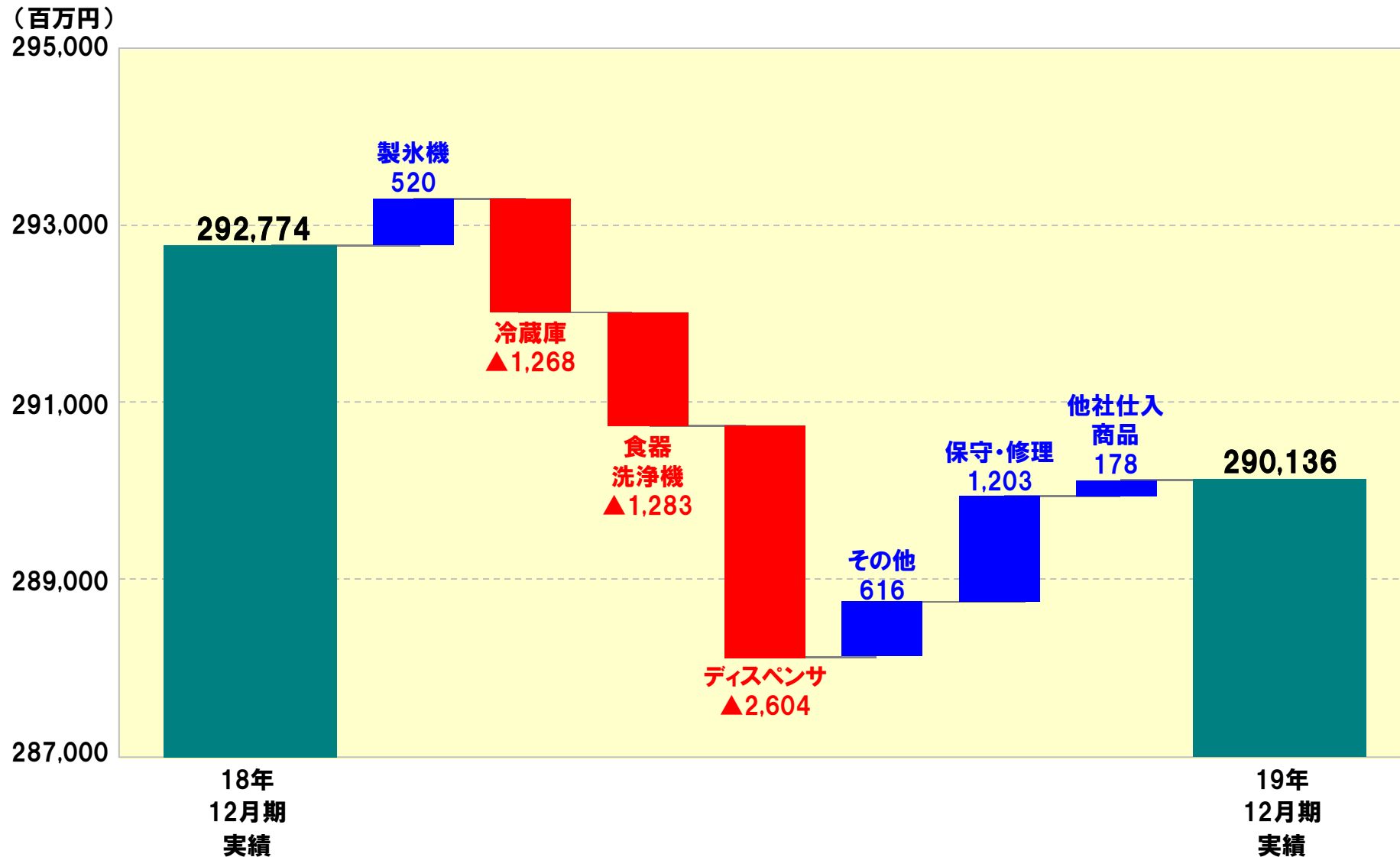
※()内は構成比を示す。

※本社所在地エリアで区分(例、ランサー欧州は米州に算入)

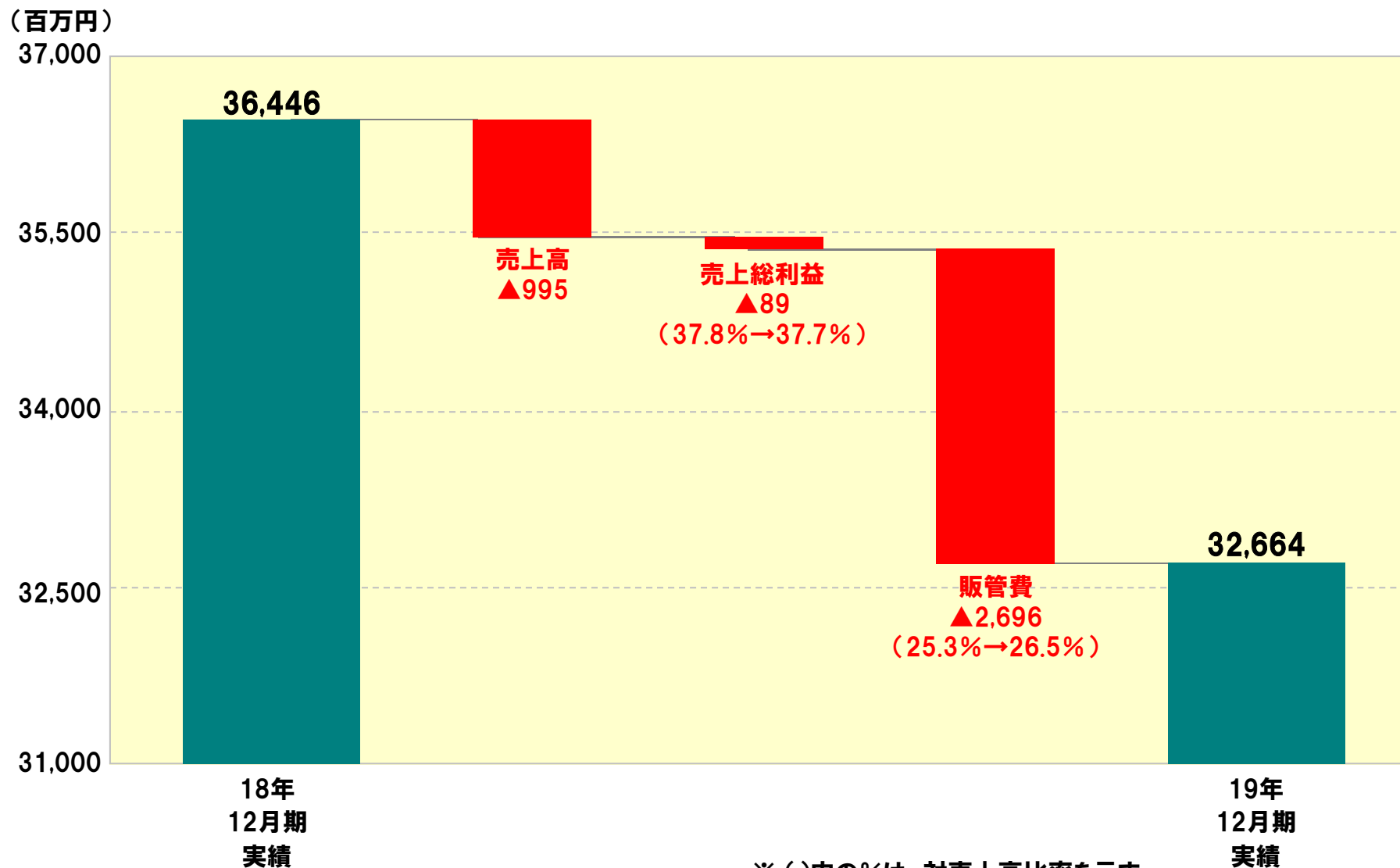
(=社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一)。



連結売上高増減要因(製品群別)



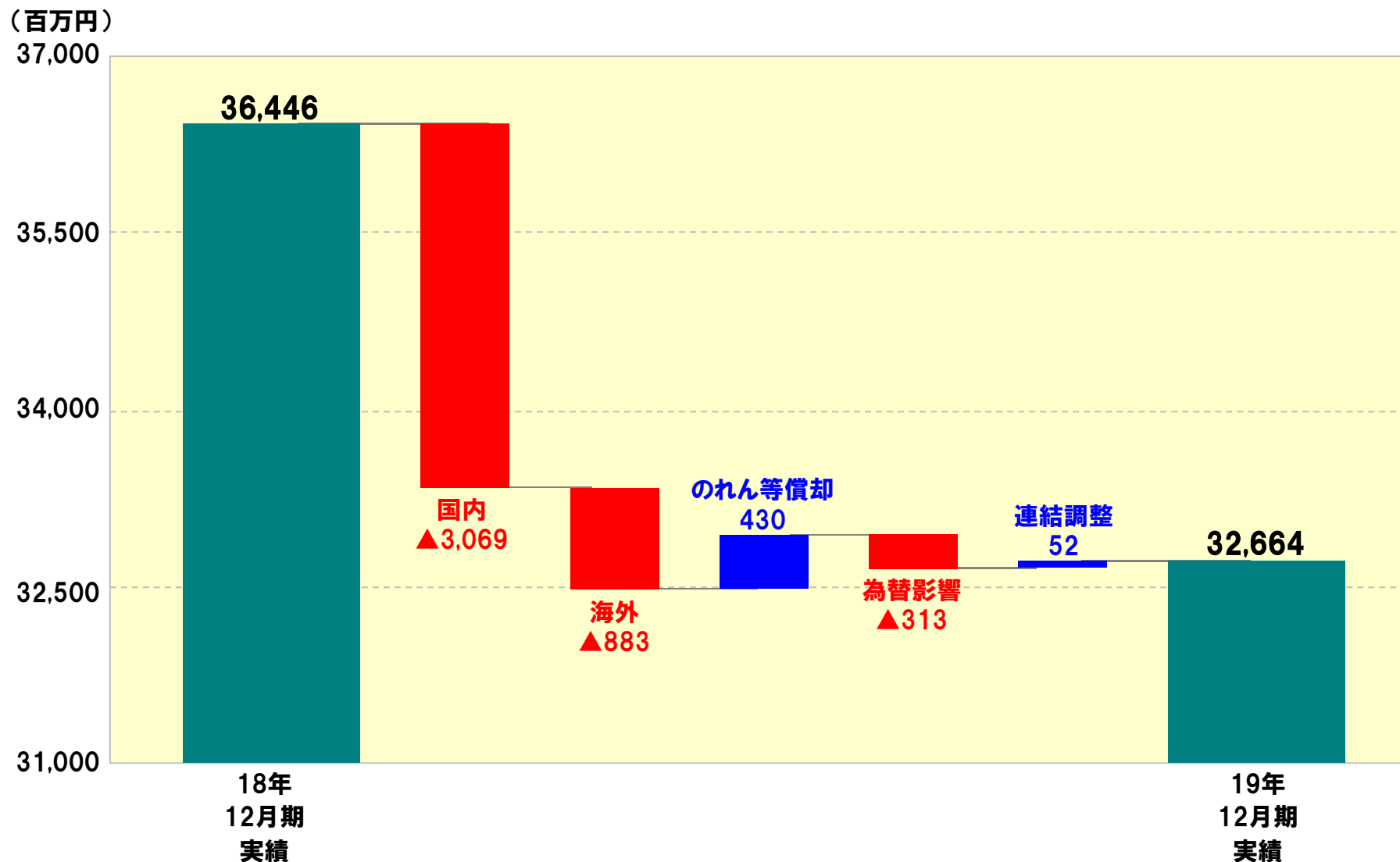
連結営業利益増減要因



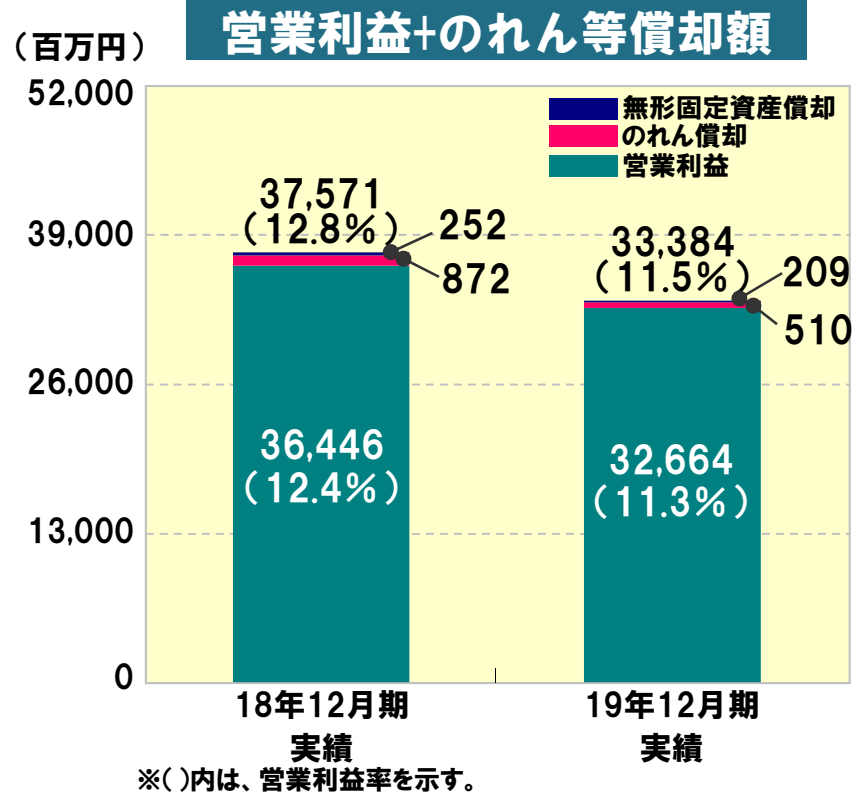
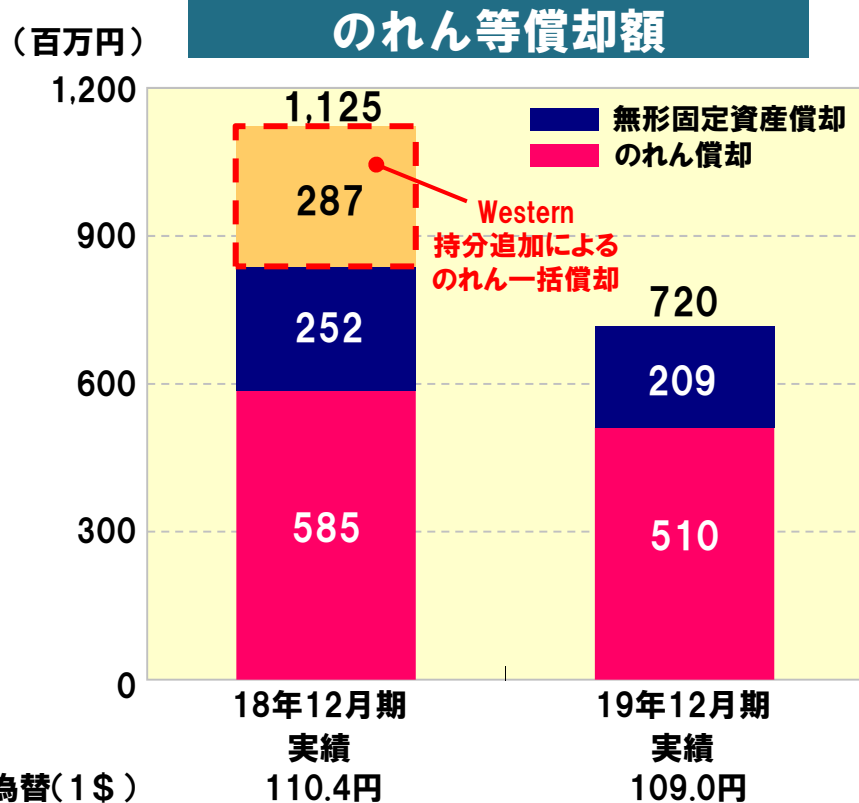
※ ()内の%は、対売上高比率を示す。



連結営業利益増減要因(国内・海外別)



のれん等償却額の影響(連結)

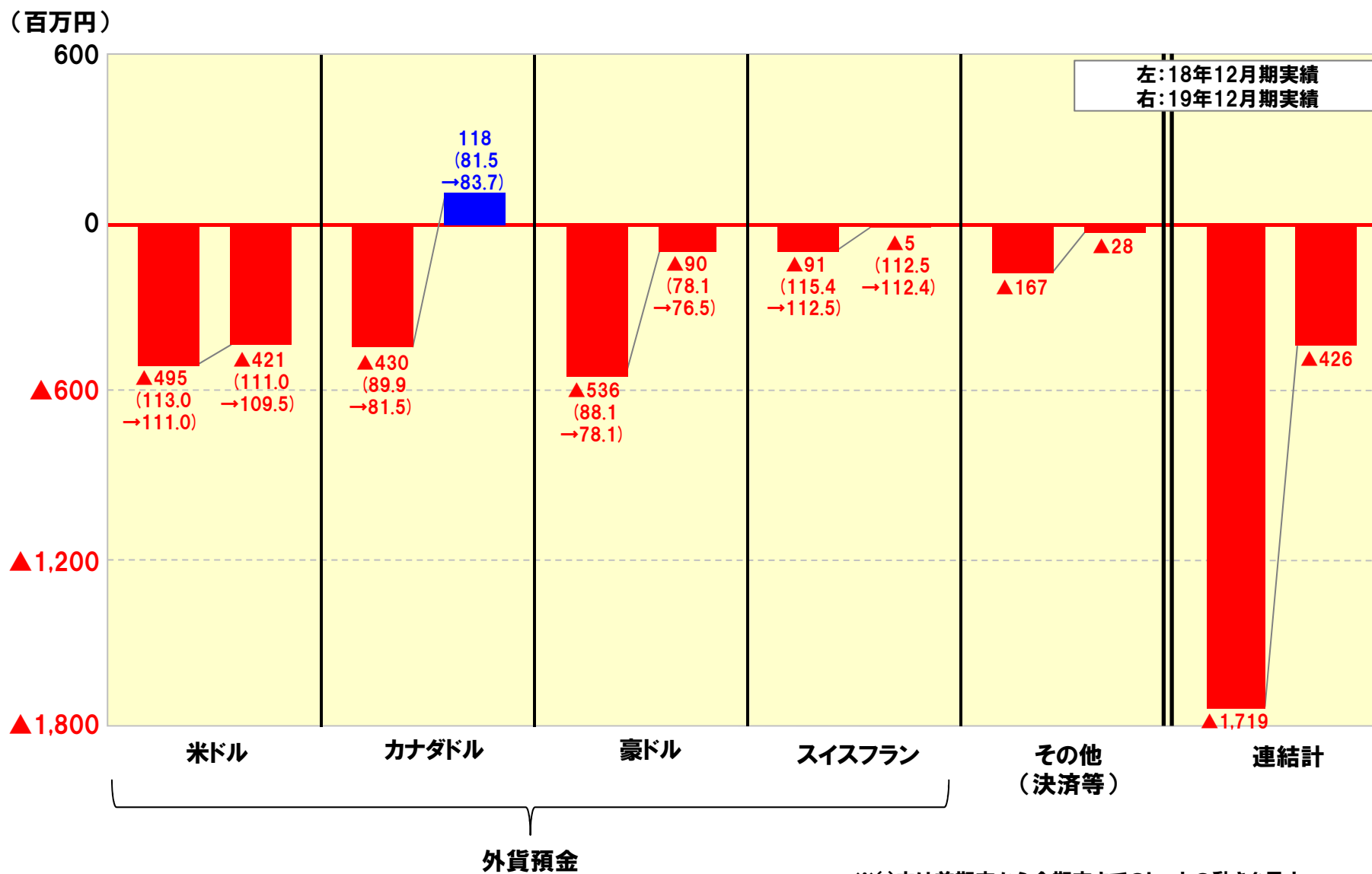


のれん等計上金額		のれん等減損金額	
・LANCER	(06年2月買収 : 17,451百万円 10年償却)	・Macom	(14年実施 : 3,186百万円)
・GRAM	(08年9月買収 : 6,759百万円 12年償却)		(15年実施 : 1,791百万円)
・Western	(13年1月買収 : 2,198百万円 10年償却)	・GRAM	(17年実施 : 1,800百万円)
〃	(〃 : 2,439百万円 16年持分追加取得分)		
〃	(〃 : 473百万円 18年持分追加取得分)		
・JACKSON	(13年1月買収 : 1,006百万円 一括償却)		
〃	(〃 : 2,020百万円 12年償却)		
・Macom	(13年7月買収 : 6,690百万円 15年償却)		

※計上金額は、買収時の為替レートにて算出。



為替差損益内訳(連結)



※()内は前期末から今期末までのレートの動きを示す。



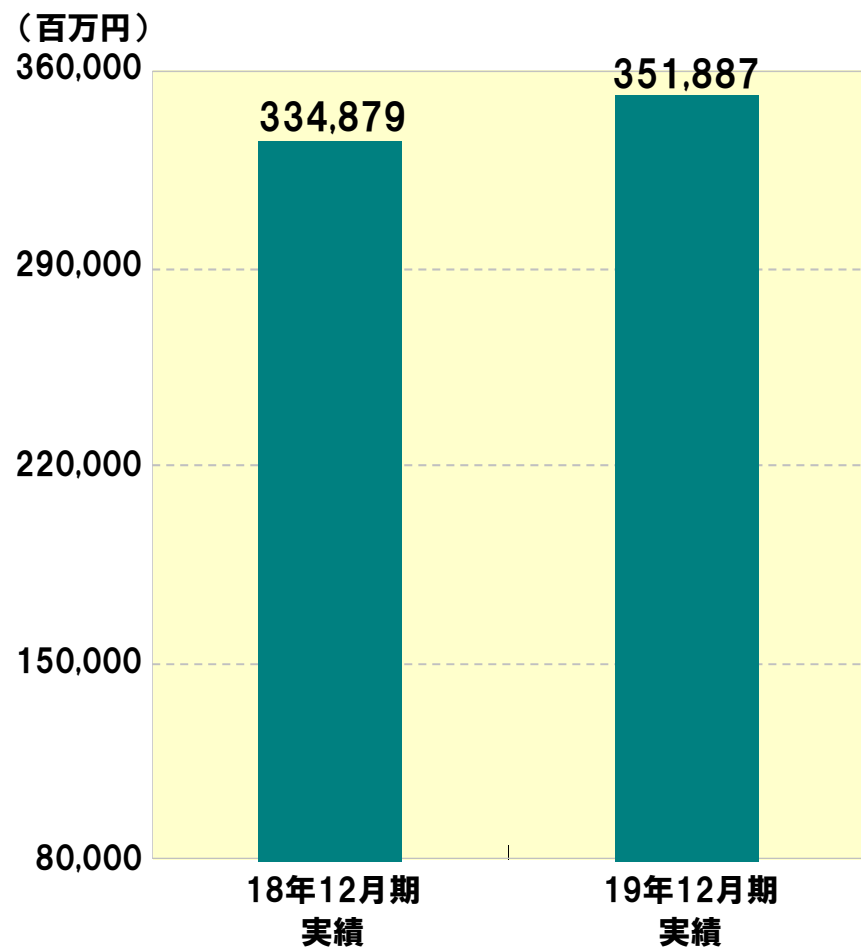
連結貸借対照表の概要

	18年12月期		19年12月期		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比増減額 (百万円)
流動資産	272,560	81.4	281,343	80.0	8,783
（手元流動性）	205,263	61.3	215,314	61.2	10,051
（売上債権）	31,183	9.3	31,708	9.0	525
（たな卸資産）	31,910	9.5	30,336	8.6	-1,574
固定資産	62,318	18.6	70,543	20.0	8,224
資産合計	334,879	100.0	351,887	100.0	17,007
流動負債	88,243	26.4	86,878	24.7	-1,365
（仕入債務）	17,664	5.3	16,555	4.7	-1,108
（前受金）	26,699	8.0	26,829	7.6	130
固定負債	23,124	6.9	22,970	6.5	-154
負債合計	111,368	33.3	109,848	31.2	-1,519
純資産合計	223,510	66.7	242,038	68.8	18,527
負債・純資産合計	334,879	100.0	351,887	100.0	17,007
現預金等(長期性預金含む)	204,263		215,093		10,830

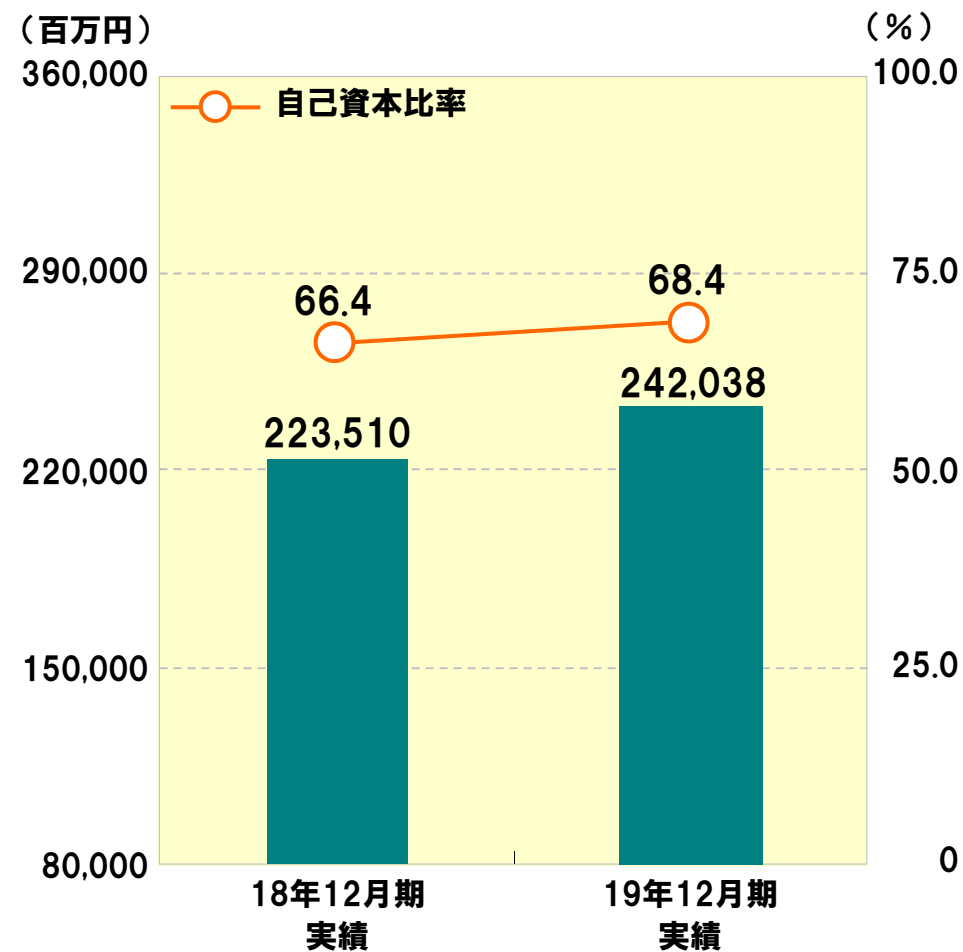


連結総資産額・純資産額の前期末比較

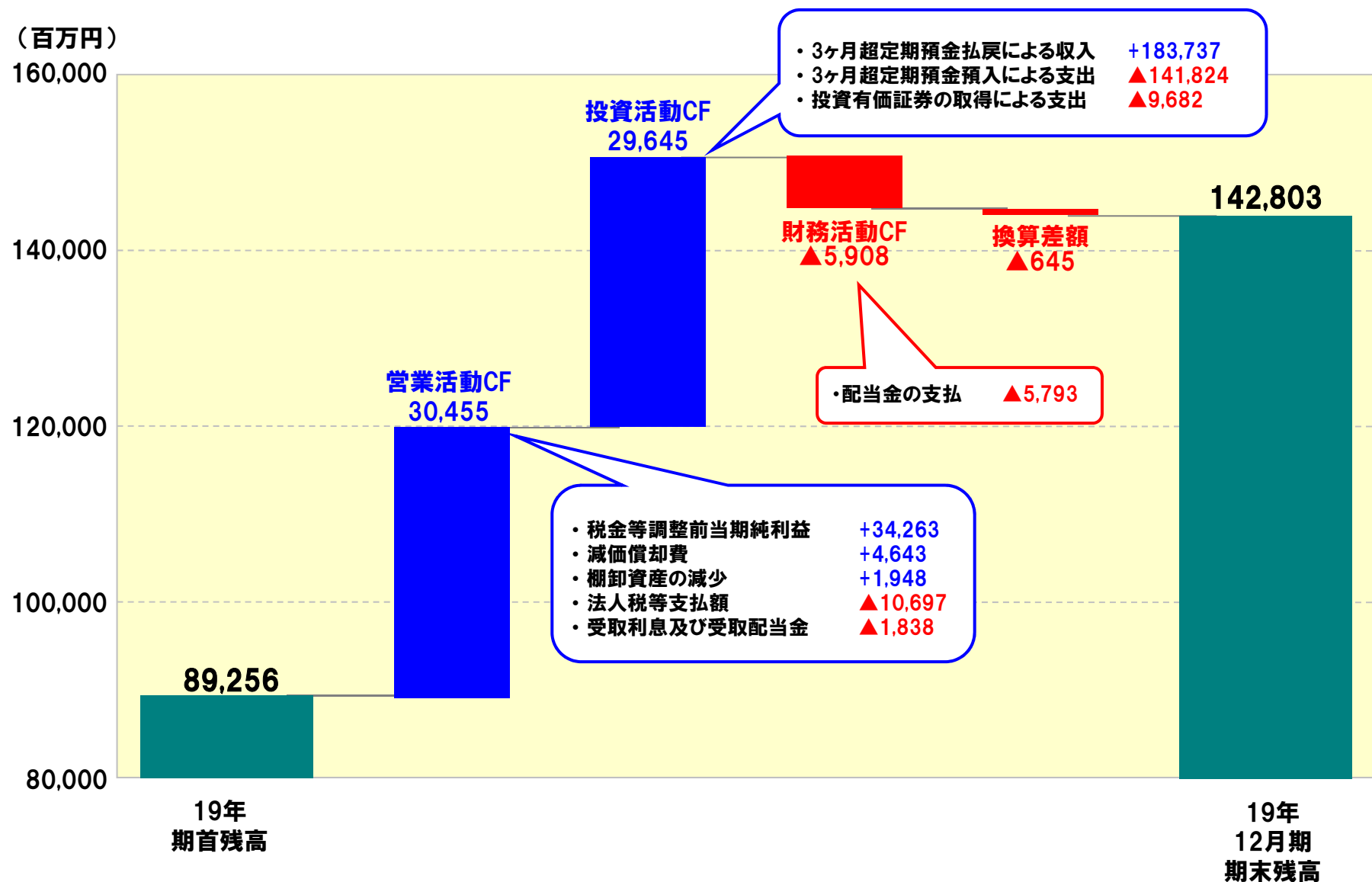
総資産額



純資産額



連結キャッシュ・フローの増減要因

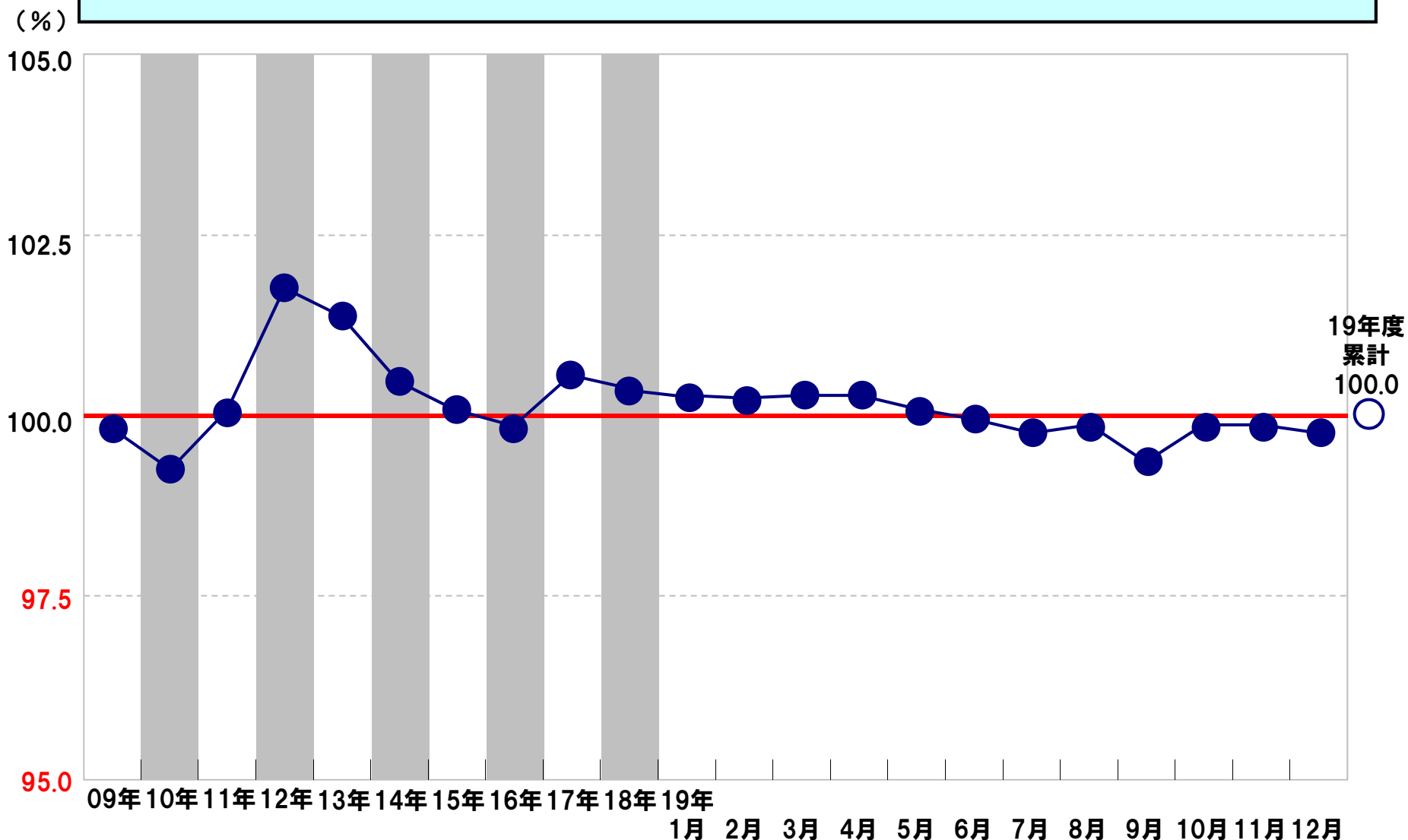




II. 2019年12月期 決算のポイント

国内：大手チェーン店 全店店舗数前期比・前年同月比

● 全店店舗数は、19年7月以降前年同月比マイナスで推移。

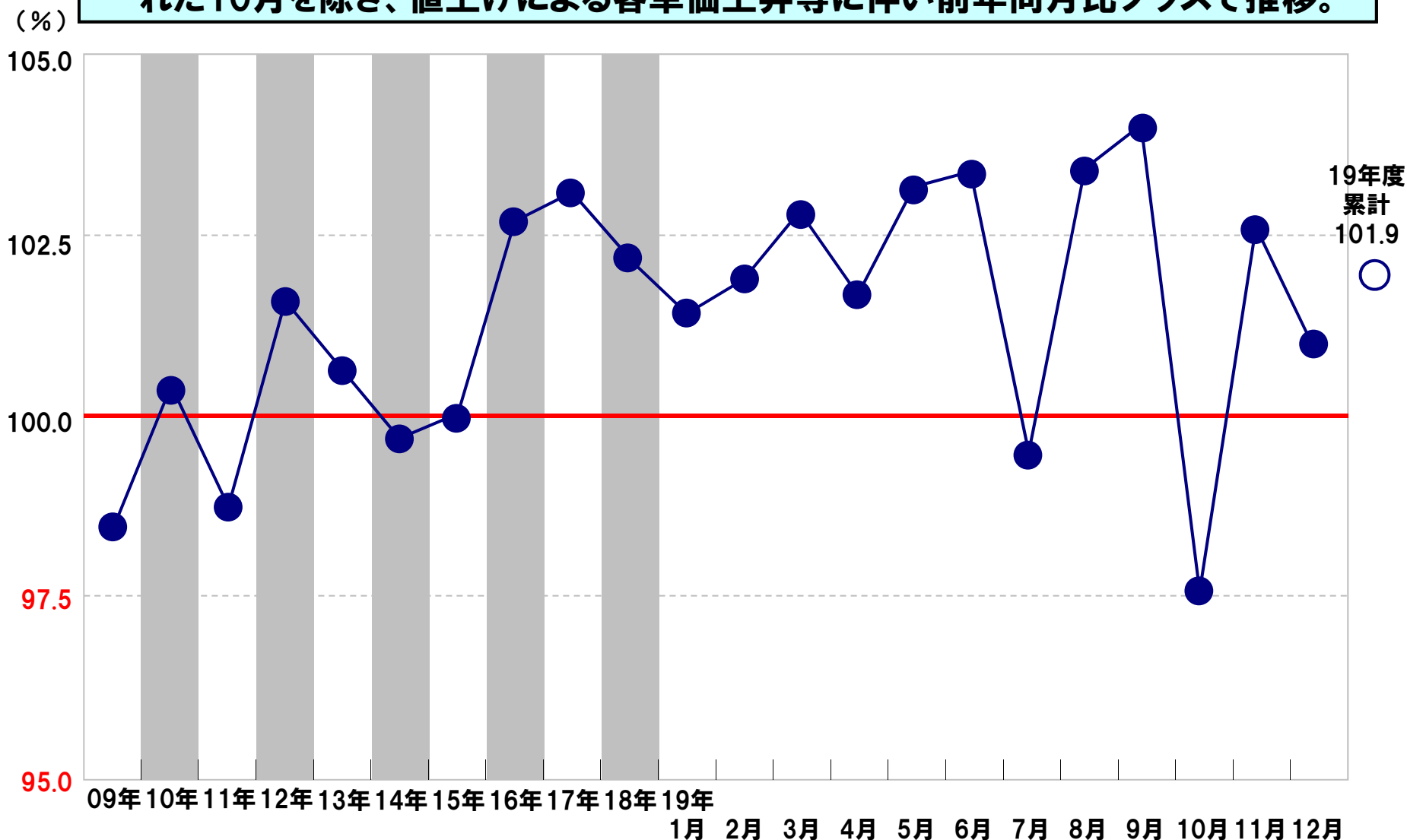


出典：日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」



国内：大手チェーン店 全店売上高前期比・前年同月比

● 全店売上高は、長梅雨の影響がみられた7月と、台風や消費増税の影響がみられた10月を除き、値上げによる客単価上昇等に伴い前年同月比プラスで推移。

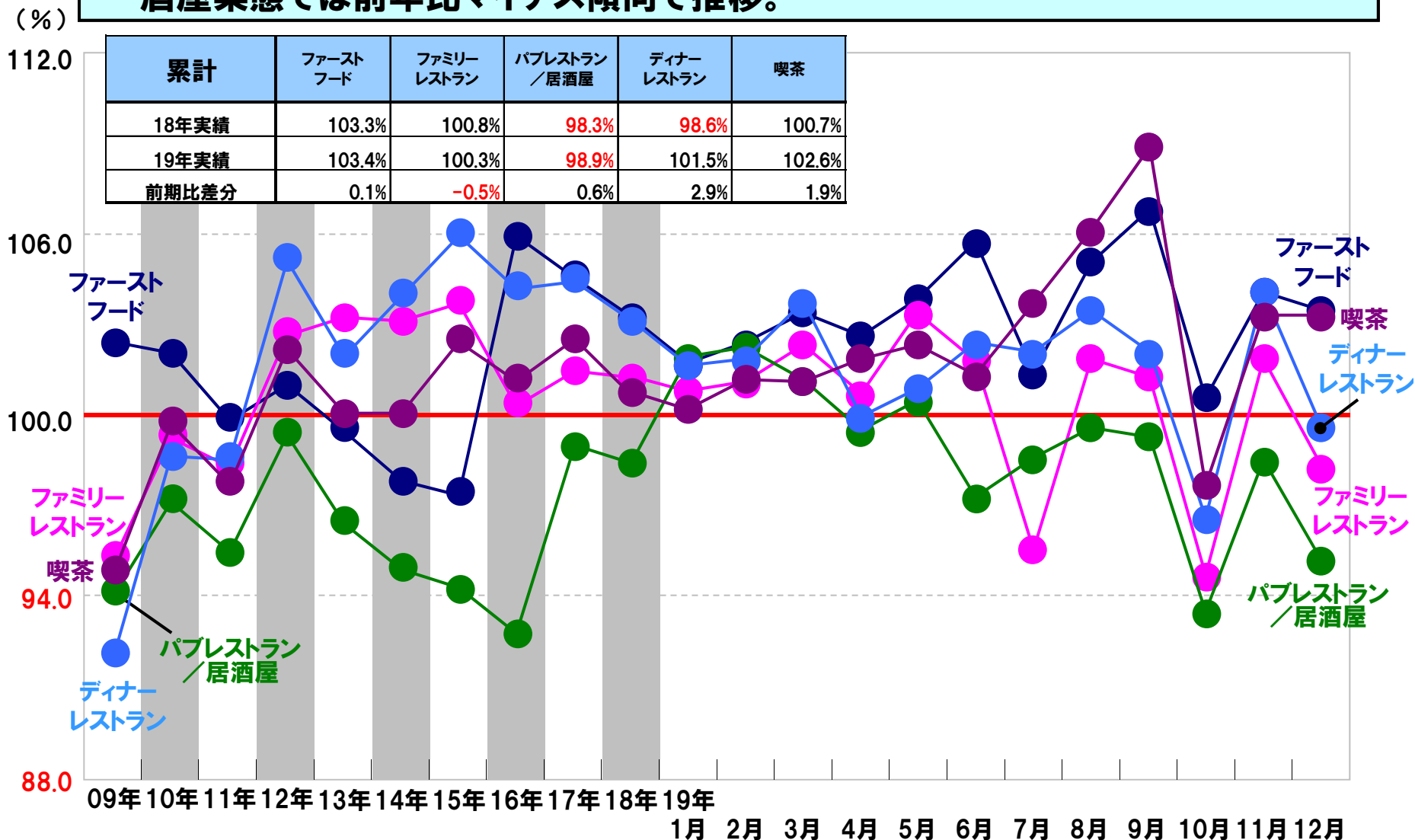


出典：日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」



国内：大手チェーン店 業態別売上高前期比・前年同月比

● ファーストフードを中心に16年末よりプラス基調に推移。一方でパブレストラン/居酒屋業態では前年比マイナス傾向で推移。

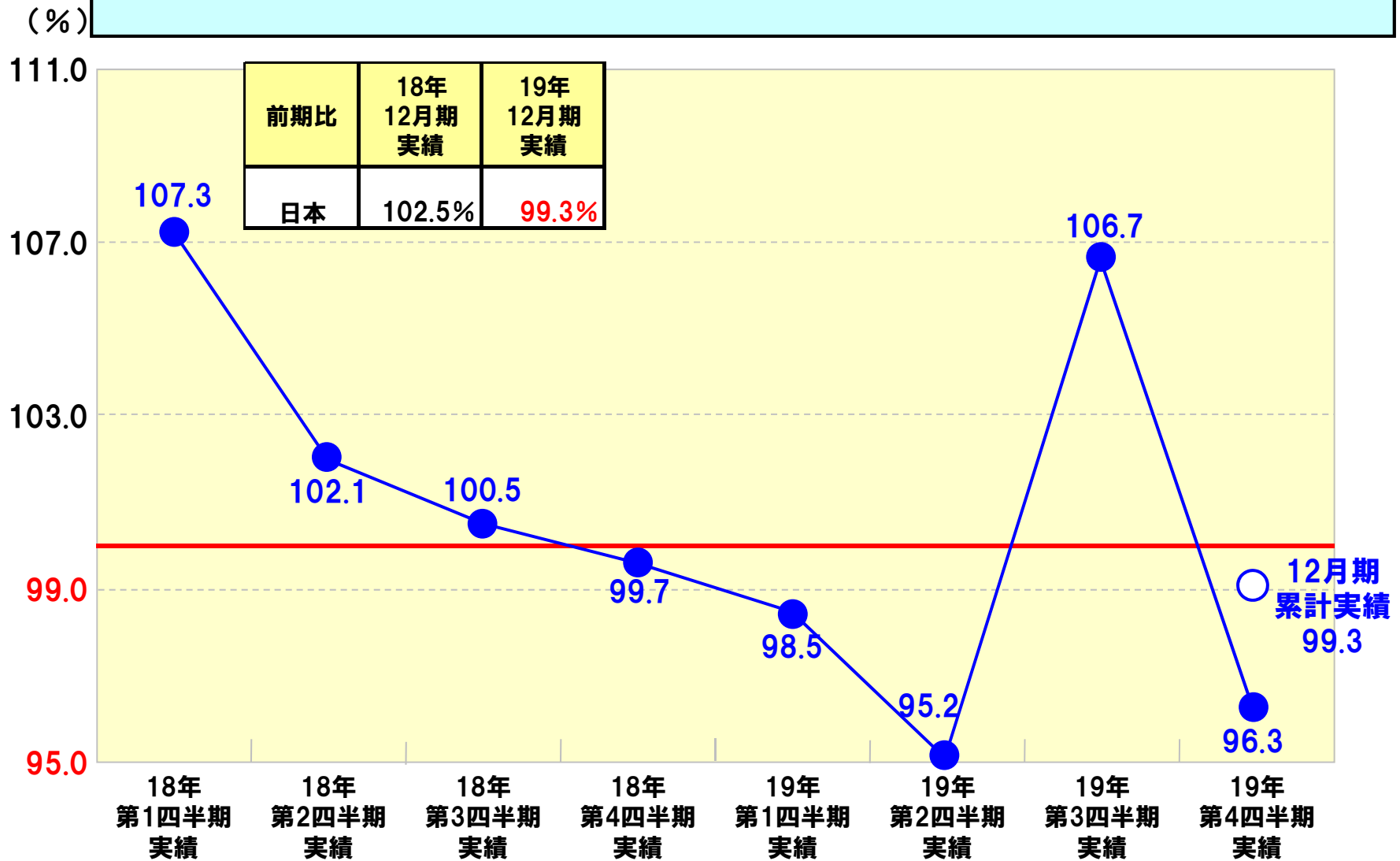


出典：日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」



国内：売上高前年同期比推移

● 19年第4四半期は消費増税前の駆け込み需要の反動減等により減収。



国内：収益貢献が期待される新商品及び戦略商品

既存市場の深掘



炭酸水ディスペンサ

- 自動抽出機能による人手不足解消
- 新規設計の抽出ノズルで泡立ちを大幅低減
- 2019年12月発売開始



小形冷蔵ショーケース

- 従来機種より省エネ性能を向上（消費電力量平均39%低減）
- 全機種で省エネ法基準値を達成
- 2020年1月発売開始予定



スチームコンベクションオーブン

- ハイクラスモデルのラインナップ追加（ホテルパン6段）
- 自動洗浄機能やタッチパネル等、12の新機能を搭載
- 2019年12月発売開始



食器洗浄機(システム洗浄機)

- 食器の洗浄から収納まで自動運転
- 空いている段を自動検知（業界初）
- 洗浄後は人の手に触れず収納（衛生性向上）
- 2019年8月発売開始

新規市場の開拓



プラストチラー

- 20段タイプで自動洗浄機能を搭載し、省人・省力化に対応
- スピーディーコースでは業界最速の洗浄時間を実現（業界初）
- 2019年10月発売開始



とろみ給茶機

- 高齢者でも飲み込めるよう「とろみ」をつけたお茶を抽出。
- ボタン1つで均一なとろみを生成、病院・老健スタッフの作業を軽減。
- 2020年春発売開始予定



デザイン冷蔵庫

- 厨房に「魅せる」要素をプラス
- オープンキッチンを備えた飲食店やホテルへの販売を想定
- 2019年10月発売開始

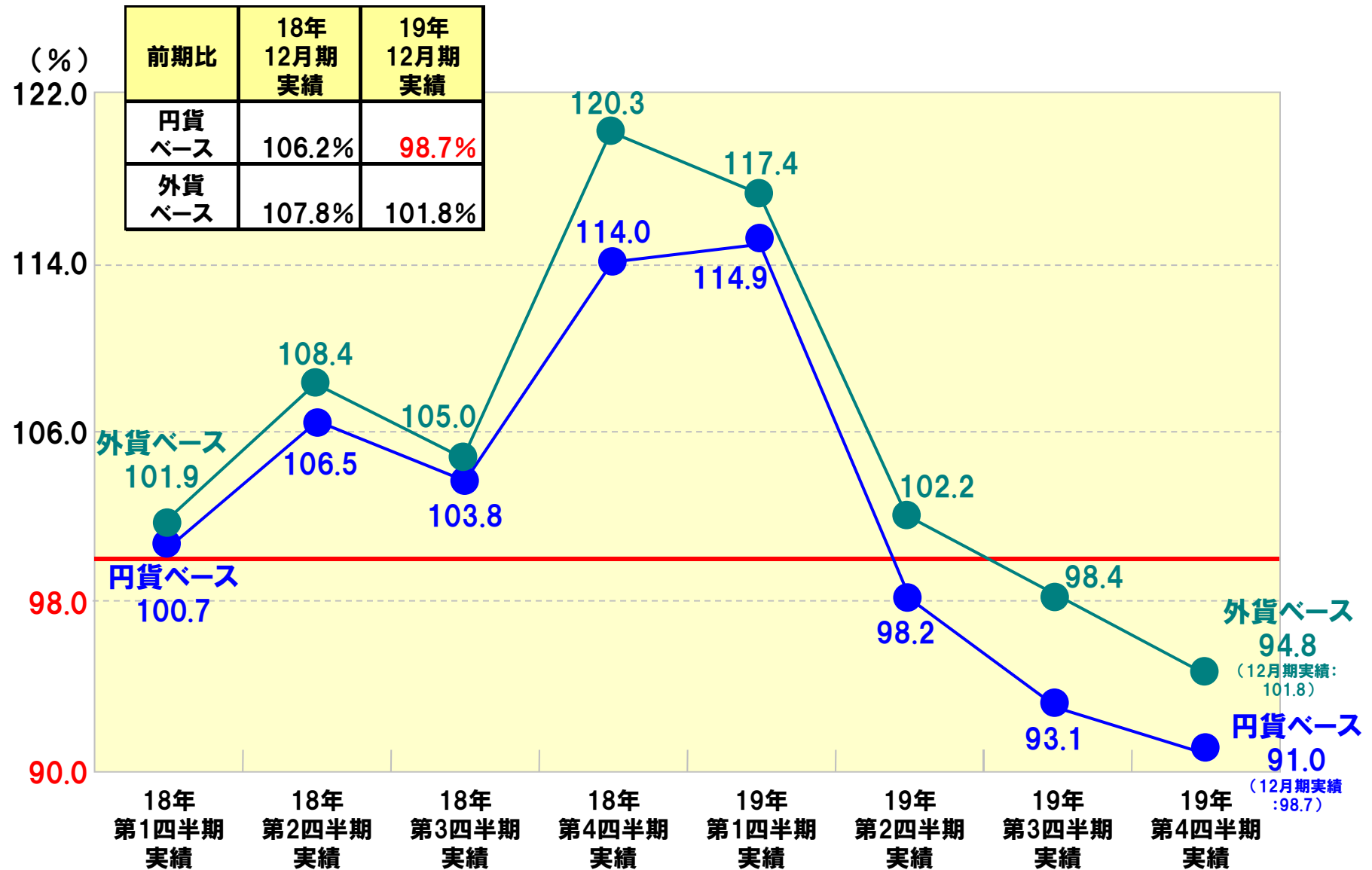


AGV温冷配膳車

- 無人搬送車を利用した省人化機器
- 病院や介護老人保健施設の食事配膳を自動搬送可能に
- 2020年8月発売開始予定



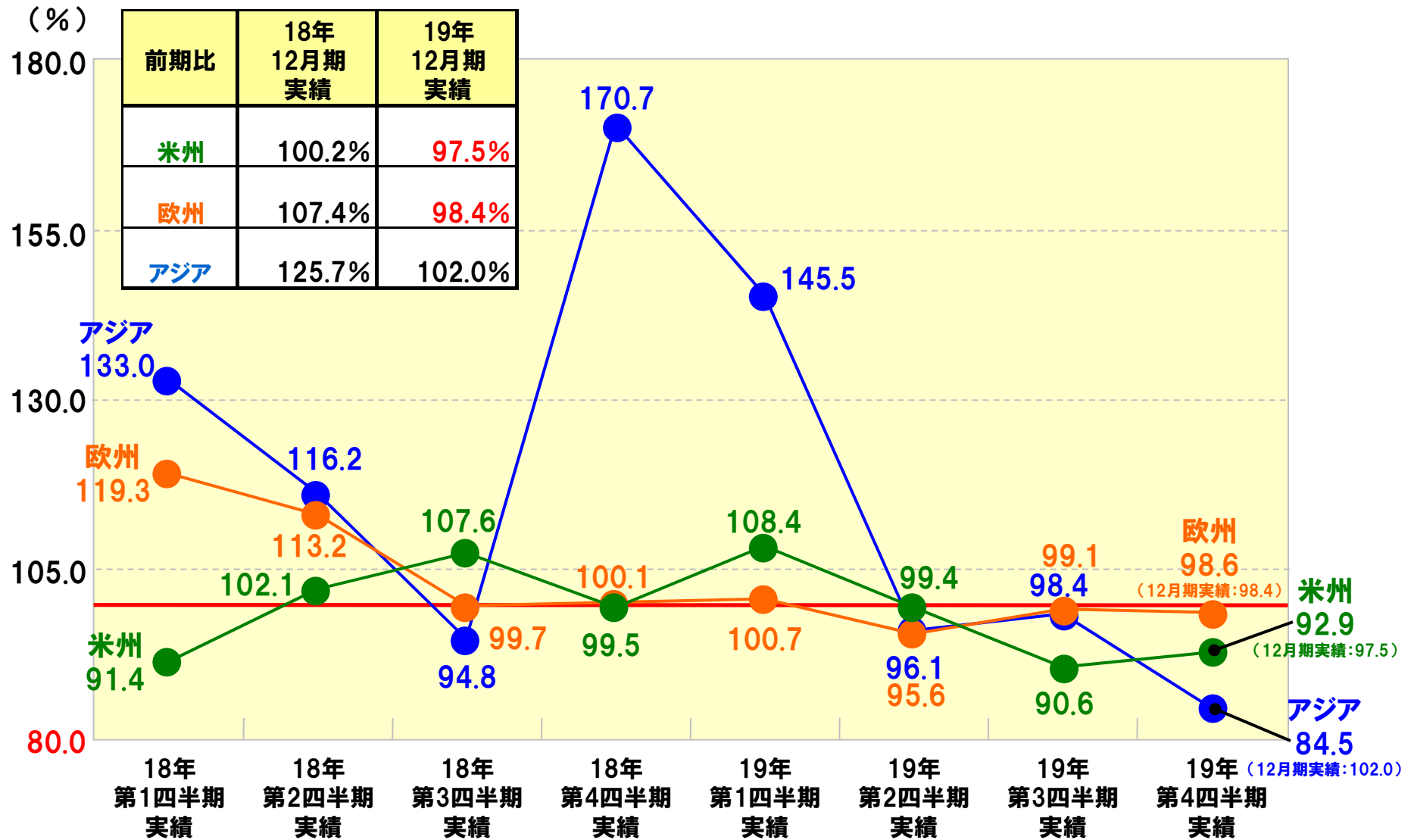
海外：売上高前年同期比(円貨・外貨)推移



※外貨ベースは、17年第1四半期の実績為替レートで19年第4四半期までの全期間を円換算。



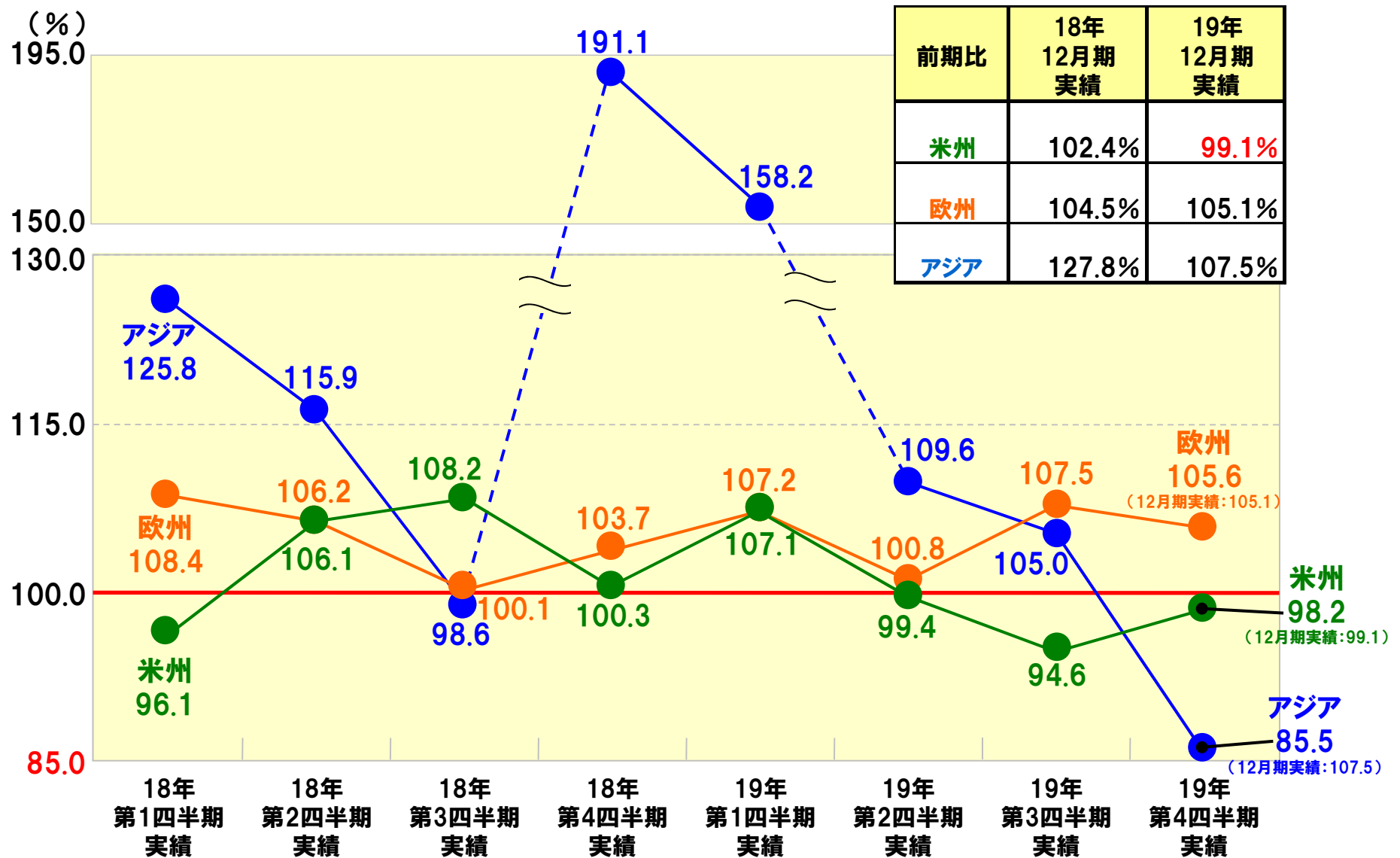
海外:エリア別^{※1}売上高前年同期比(円貨ベース^{※2})推移



※1: 本社所在地エリアで区分(例. ランサー欧州は米州に算入)(=社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一)。
 ※2: 各四半期の実績為替レートで円換算。



海外:エリア別^{※1}売上高前年同期比(外貨ベース^{※2})推移



※1: 本社所在地エリアで区分(例. ランサー欧州は米州に算入)(=社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一)。

※2: 17年第1四半期の実績為替レートで19年第4四半期までの全期間を円換算。



海外：収益貢献が期待される新商品及び戦略商品

米州



製氷機

- アメリカ市場向けにボールアイス製氷機の発売開始
- ホテル・カジノ向けに製氷機のバリエーションを拡充
- 2020年4月発売開始予定



飲料ディスペンサ

- 1台のディスペンサから同時に2人まで抽出可能
- 266種のドリンクをタッチパネルで選択
- 2018年11月発売開始

欧州



ノンフロン製氷機

- 欧州の環境方針への対応
- 省エネ性に優れ、ランニングコスト業界No.1シリーズのラインナップ拡充
- 新たなノンフロン冷媒採用機種種の拡充



冷蔵庫

- Ozti社(トルコ)のOEM製品
- ボリュームゾーン攻略モデル
- 2017年7月発売開始

アジア



冷蔵庫

- インド市場向け機種
- 効率的な冷気循環や優れた耐久性を実現
- 2019年10月発売開始

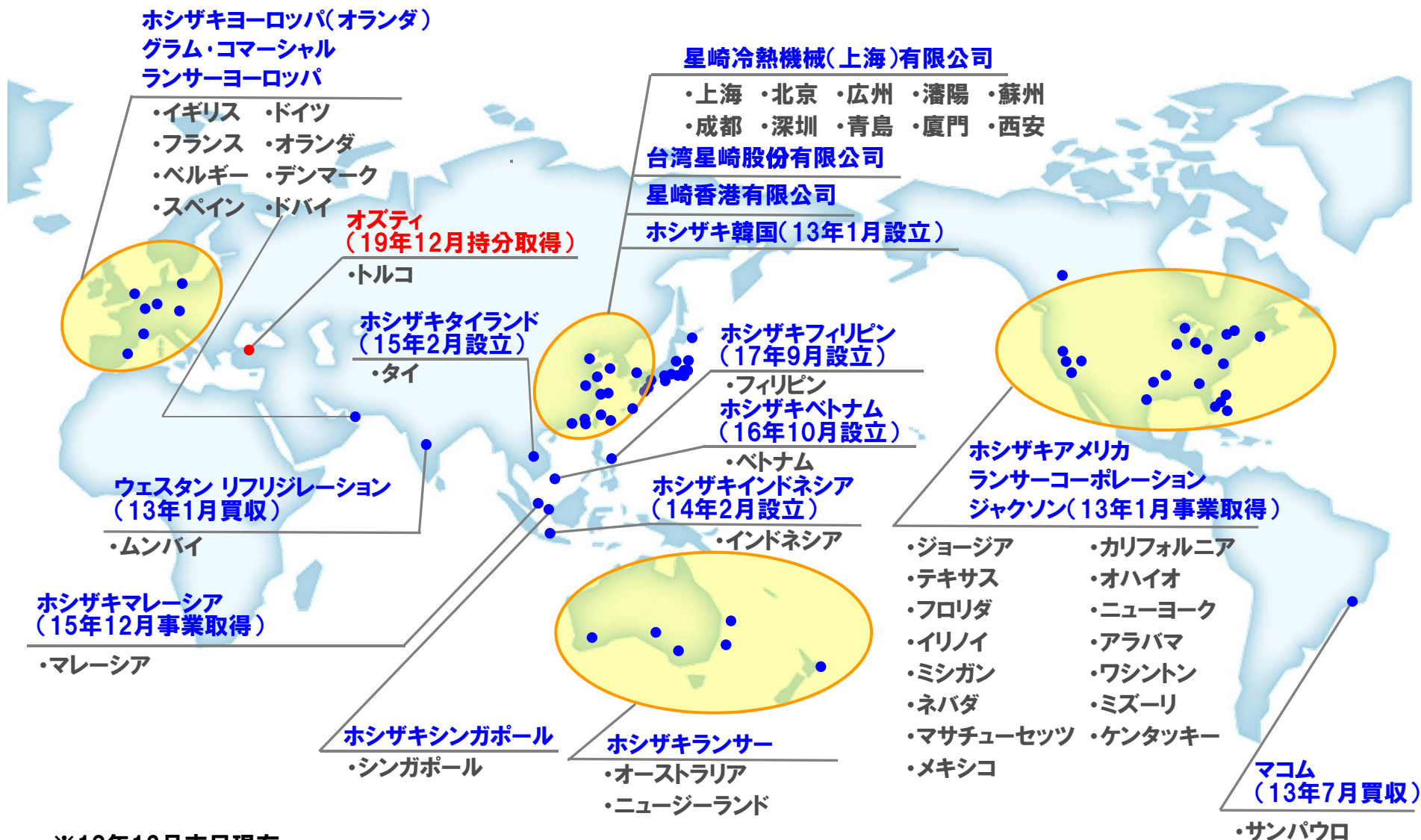


食器洗浄機(ドアタイプ)

- 東南アジア向け機種
- 洗浄能力、省エネ性能ともに日本国内同等の高スペックかつ競合優位性のある価格設定を実現
- 2019年8月発売開始



海外：グローバル販売ネットワーク



※19年12月末日現在。





III. 2020年12月期 業績予想

HOSHIZAKI

2020年12月期 業績予想のポイント(連結)

■ 売上高は3,025億円(前期比4.3%増)

- 国内：売上高 1,972億円(同3.8%増)
- 海外：売上高 1,053億円(同5.1%増)
- 海外売上高比率：34.8%(同0.3pt増)
- 国内では、人手不足による飲食店等施設出店延期の継続や、東京オリンピック前後の需要変動及び営業活動への影響等が見込まれるものの、営業・サービス連携によるエリア営業の強化、採算性に留意した物件需要の獲得を見込み、通期の売上高前期比を103.8%で想定。
- 海外では、主に北米マーケットの回復やインドのWesternにおける売上増の継続がプラス貢献するものの、米ドル等主要通貨を前期に対し円高方向に見込んだことによる円換算後のマイナス影響を見込み、通期の売上高前期比を105.1%と想定。
- 主要な為替レート(期中平均)は、1米ドル=105円、1ユーロ=120円、1インドルピー=1.50円

■ 営業利益は360億円(同10.2%増)

- 国内では、前期の不適切取引の調査対応費用の計上がなくなるものの、原材料価格高騰、戦略的投資等によるコスト増を想定。
- 海外では、原材料価格高騰、米中貿易摩擦の継続等海外発リスクによる需要停滞等によるコスト増を想定。

■ 経常利益は378億円(同10.4%増)

- 外貨預金による為替差損益は見込まず(前期は、為替差損4.2億円を計上)。

■ 親会社株主に帰属する当期純利益は263億円(同7.6%増)



連結業績予想概要

	19年12月期 実績		20年12月期 業績予想(20.2.10)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	率 (%)
売上高	290,136	100.0	302,500	100.0	12,364	104.3
売上総利益	109,464	37.7	116,000	38.3	6,536	106.0
販売費及び一般管理費	76,799	26.5	80,000	26.4	3,201	104.2
営業利益	32,664	11.3	36,000	11.9	3,336	110.2
経常利益	34,224	11.8	37,800	12.5	3,576	110.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	24,437	8.4	26,300	8.7	1,863	107.6

本資料における注意事項等

- 本資料にはホシザキ株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述及び資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述及び資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び弊社IRに関するお問い合わせ先】

ホシザキ株式会社 経理部 企画課

TEL (0562)96-1320

URL <http://www.hoshizaki.co.jp/>

